

### 気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD<sup>※</sup>）提言への賛同

愛知製鋼株式会社（代表取締役社長：藤岡高広）は、このたび「気候関連財務情報開示タスクフォース（以下、TCFD）」提言への賛同を表明しましたのでお知らせします。

当社はこれまでも資源循環型企业として、気候変動への対応を経営の最重要課題と捉え、CO<sub>2</sub>排出量削減に努めてきました。急速な脱炭素社会への移行を踏まえ、当社は気候変動への対応をリスクだけでなく、モノづくりの技術力を高める機会と捉えています。

2030年ビジョンでは経営指針の1つとして「持続可能な地球環境への貢献」を掲げ、2021年8月には、CO<sub>2</sub>排出量を2013年度比で2030年に35%削減、2050年カーボンニュートラルの実現を目指す方針を公表しました。

今後も、事業活動を通じた持続可能な社会の実現に向け、TCFD提言に基づく情報開示を進めていきます。

※ G20の要請を受け、2015年に金融システムの安定化を図る国際的組織である「金融安定理事会（FSB）」により設立されたタスクフォースであり、気候変動が企業に与える影響等の開示を推奨

